

高美小学校内 TM だより

R8.9.11.NO.17

1年2組の国語の授業におじゃましました。

★読み取りの学習とつながる漢字学習★

授業の前半には、新出漢字の学習や言葉集めに取り組んでいました。「三」の字では「何画目が長いかな」と問いかけながら、テンポよくやり取りが進められていました。また、言葉集めでは見つけた言葉や文を書き出したり、漢字ドリルに取り組んだりしていました。早く終わった子はカタカナの練習に取り組めるようになっており、一人ひとりが自分のペースで学習を進められるよう工夫されていました。ここで活用されているカタカナプリントは、海の生き物の名前について答えるものでした。「うみのかくれんぼ」に関連して、語彙を習得することができるよう工夫されていました。また、同じプリントが繰り返し使われており、知識の定着や、安心感につながっていました。

★これまでの学習をふりかえる時間★

「うみのかくれんぼ」の学習の導入では、はまぐり、たこ、もくずしゅいなど、これまで学習してきた海の生き物についてテレビを活用しながらふり返っていました。その後、「どの生き物がいちばんかしこいかな」という問いが示されると、子どもたちはこれまで学んだ内容を思い出しながらかえていました。学習してきたことに立ち返ることで、本時の活動への見通しをもっている様子が見られました。

★理由を考え、自分の思いを表現する活動★

めあてを確認した後は、「いちばんかしこいと思った生き物」とその理由を書く活動が行われました。「理由まで書けたらはなまる」としてゴールが示されており、子どもたちは何を書けばよいのかを意識しながら取り組んでいました。自分で書き進める子もいれば、黒板のヒントを活用しながら考える子もあり、それぞれが自分に合った方法で学習を進めていました。考える際には、教科書を活用するよう声をかけておられ、記憶を頼るのではなく、あくまでも本文の記述を大切にしよう意識されていました。「理由を二つ書いてもいい？」と確認する姿も見られ、自分の考えを伝えようとする様子がうかがえました。また、次の時間に交流することが伝えられると、「早く話したい」という思いをもつ子もあり、これからの活動～まとめ～

授業の中では、これまで学習してきた海の生き物についてふりかえることから学習が始まりました。その上で、「どの生き物がいちばんかしこいと思うか」を自分なりに考え、理由とともに表現する姿が見られました。理由を書くことをゴールとして示したり、黒板や教科書を活用できるようにしたりすることで、一人ひとりが安心して考えをもつことができていました。また、次時の交流を見据えながら考えをまとめる姿からは、自分の考えを伝えることへの意欲も感じられました。北埜先生、1年2組のみなさん、ありがとうございました。

